



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 エヌエフ回路設計ブロック
 コード番号 6864 URL <http://www.nfcorp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 常夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務管理本部長 (氏名) 大滝 正彦
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 045-545-8101

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,615	4.4	576	10.8	557	7.5	682	117.7
25年3月期第3四半期	4,419	2.8	520	1.6	518	5.1	313	19.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 641百万円 (102.5%) 25年3月期第3四半期 316百万円 (21.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	117.17	—
25年3月期第3四半期	53.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	9,549	5,750	60.2
25年3月期	8,868	5,198	58.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 5,750百万円 25年3月期 5,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	6.0	870	4.0	860	3.0	810	60.9	139.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) 株式会社NFテクノマース
株式会社千代田エレクトロニクス、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	6,270,000 株	25年3月期	6,270,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	448,323 株	25年3月期	446,024 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	5,822,694 株	25年3月期3Q	5,824,394 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
1株当たり予想当期純利益は自己株式を含めて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)におけるわが国経済は、米国内需の回復継続、政府による経済政策効果や金融緩和策等によって、全般的には企業の景況感や収益状況の改善、設備投資の緩やかな回復も見られましたが、当社の属する計測器業界においては依然として先行き不透明感を払拭できない状況が続きました。

このような経営環境下、当社グループにおきましては、従来からの強み製品を中心として、環境・エネルギー関連等好調な市場にフォーカスする等、鋭意拡販に取り組みました。また、当第3四半期より株式会社千代田エレクトロニクスを連結子会社としたことに伴い特別利益(負ののれん発生益)303百万円を計上しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,615百万円(前年同期比4.4%増)、損益面では経常利益557百万円(前年同期比7.5%増)、四半期純利益682百万円(前年同期比117.7%増)となりました。

② 営業の分野別状況

当第3四半期における営業の分野別状況は、次のとおりであります。

《電子計測器分野》

電子計測器分野では、当社の技術を生かした新製品としてプログラマブル電流増幅器を上市するなど、継続的な新製品の開発と拡販に努めておりますが、当期においては、ファンクションジェネレータが堅調に推移したものの、LCRメータが電子部品市場等において、また周波数特性分析器がエレクトロニクス市場等において、全般的に需要面の力強さに欠ける状況で推移しました。

以上の結果、電子計測器分野の売上高は697百万円(前年同期比8.0%減)となりました。

《電源機器分野》

電源機器分野では、保護リレー試験器RX4744を上市するなど、製品の積極的な拡販活動を実施しており、当期においては、系統連系関連装置用の高機能・高性能な交流電源や保護リレー試験器等が堅調に推移しました。

以上の結果、電源機器分野の売上高は1,890百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

《電子部品分野》

電子部品分野は、当社が得意としているアナログ技術をベースにして開発した標準製品である広帯域電流増幅器が寄与しました。また、カスタム製品は、航空宇宙関連市場および鉄道関連市場は堅調でしたが、電力関連市場においては需要面の力強さに欠ける状況で推移しました。

以上の結果、電子部品分野の売上高は647百万円(前年同期比8.3%減)となりました。

《カスタム応用機器分野》

カスタム応用機器分野では、当社の強みである計測技術と電力制御技術を駆使した各種電源装置から各種システムに亘る環境・エネルギーソリューションを積極的に展開しており、当期においては、系統連系関連装置等が好調に推移したことに加え、表面処理用を中心とした各種カスタム電源装置も寄与し、総じて好調に推移しました。

以上の結果、カスタム応用機器分野の売上高は1,108百万円(前年同期比29.6%増)となりました。

《その他分野》

この分野は、修理・校正および仕入商品の売上が主なものです。

その他分野の売上高は270百万円(前年同期比11.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産)

当第3四半期連結会計期間の総資産は売上債権、投資有価証券の売却などにより減少したものの、現金及び預金並びに棚卸資産及び新規連結子会社の増加などにより、前連結会計年度と比較して680百万円増加し、9,549百万円となりました。

負債は前連結会計年度と比較して、新規連結子会社の増加などにより、127百万円増加し3,798百万円となりました。

純資産は前連結会計年度と比較して、新規連結子会社の増加などにより、552百万円増加し5,750百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、米国を中心に今後も引き続き底堅い回復が続くと期待されますが、欧州、中国は持ち直しの兆しがみられるものの先行き不透明感を依然として払拭できておらず、全体としては緩やかな回復にとどまるものと考えております。他方、国内においては、景気は底堅く推移していくものと期待されるものの、当社グループを取り巻く環境は引き続き予断を許さないものと考えております。

このような状況のもと、当社グループでは環境変化にさらに俊敏に対応すべく事業全般の効果・効率を一層高め、新製品の継続的上市、新製品を含む強み製品の拡販、原価・経費低減等を引き続き強力で推進してまいります。

開発面では特に電子計測器、電源機器の製品ラインアップ強化を図ってまいります。また、販売面では各営業拠点の販売、サービス機能の拡充を図るとともに、顧客へのソリューション提供活動を強力で展開してまいります。

なお、当社は平成26年1月24日付にて、特別利益（負ののれん発生益）の計上に伴い、通期業績予想を修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(特定子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において重要性が増したため、株式会社NFテクノコマース(平成25年8月28日にエヌエフ商事株式会社より社名変更)を、連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間において、株式会社千代田エレクトロニクス(平成25年10月1日に株式会社千代田より社名変更)の全株式を取得し連結子会社といたしました。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,275,482	2,572,115
受取手形及び売掛金	2,285,111	1,983,821
商品及び製品	502,031	745,863
仕掛品	512,817	733,238
原材料	473,731	714,855
その他	269,642	193,346
貸倒引当金	△38,725	△10,449
流動資産合計	6,280,092	6,932,791
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,168,541	1,340,897
その他(純額)	661,775	782,612
有形固定資産合計	1,830,317	2,123,510
無形固定資産	142,893	220,851
投資その他の資産	615,683	272,002
固定資産合計	2,588,893	2,616,364
資産合計	8,868,985	9,549,156
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	655,442	805,961
短期借入金	14,400	321,000
未払法人税等	191,373	10,656
賞与引当金	231,160	104,548
役員賞与引当金	27,270	—
受注損失引当金	2,960	—
その他	707,173	584,276
流動負債合計	1,829,780	1,826,443
固定負債		
社債	540,000	520,000
長期借入金	924,400	946,600
退職給付引当金	105,937	168,549
長期未払金	108,432	103,682
資産除去債務	—	19,350
その他	161,863	213,761
固定負債合計	1,840,633	1,971,944
負債合計	3,670,413	3,798,387

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	910,000	910,000
資本剰余金	1,177,500	1,177,500
利益剰余金	3,244,129	3,838,477
自己株式	△197,427	△198,851
株主資本合計	5,134,202	5,727,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,369	23,642
その他の包括利益累計額合計	64,369	23,642
純資産合計	5,198,571	5,750,769
負債純資産合計	8,868,985	9,549,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,419,690	4,615,916
売上原価	2,612,315	2,754,648
売上総利益	1,807,375	1,861,268
販売費及び一般管理費	1,287,036	1,284,740
営業利益	520,338	576,527
営業外収益		
受取利息	692	723
受取配当金	13,771	7,475
保険解約返戻金	13,089	—
その他	8,818	9,411
営業外収益合計	36,372	17,611
営業外費用		
支払利息	24,889	23,776
売上割引	7,048	7,049
その他	5,881	5,319
営業外費用合計	37,819	36,144
経常利益	518,892	557,994
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	—	66,078
負ののれん発生益	—	303,612
特別利益合計	2	369,690
特別損失		
固定資産除却損	1	595
投資有価証券評価損	877	240
投資有価証券償還損	—	100
社葬費用	—	8,377
特別損失合計	879	9,313
税金等調整前四半期純利益	518,015	918,371
法人税、住民税及び事業税	116,810	145,057
法人税等調整額	87,752	91,057
法人税等合計	204,562	236,115
四半期純利益	313,453	682,256

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
四半期純利益	313,453	682,256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,378	△40,726
その他の包括利益合計	3,378	△40,726
四半期包括利益	316,831	641,529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	316,831	641,529
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。